

議 事 録

会議名	平成21年度第1回寒川町外部評価委員会		
日 時	平成22年1月29日（金） 午後2時から午後4時30分まで	開催形態	公開
場 所	議会第1会議室（寒川町役場3階）		
出席者	委員：金井委員（委員長）、宮内委員（副委員長）、 今井委員、小栗委員、本郷委員 （欠席者：なし） 事務局：山上町長（途中退席）、木村企画政策部長、 小島専任主幹、樋口副主幹、小川主任主事		
議 題	1 委員長、副委員長の選任 2 寒川町の行政評価について 3 寒川町外部評価委員会の進め方について 4 外部評価を実施する事業について その他		
決定事項	・委員長を金井委員、副委員長を宮内委員とする。 ・外部評価を行う事業の選定は次回の会議（2月5日午後6時から）で行う。		
委嘱状の 交付	第1回目の会議に先立ち、委員の委嘱式を実施した。 （町長から各委員へ委嘱状の交付）		
町長 あいさつ	外部評価委員の就任へのお礼 会議開催の遅れに対するお詫び 町長として町の行政改革をしっかりとやりたい。その一つとしてこの委員会を考えている。 町の財政状況について状況を説明する。一昨年からの経済情勢の悪化により町の歳入が大きく落ち込んでいる。本年度、法人の予定納税の還付が3億円近くあり、このままでは22年度には歳入の不足が16億8千万円ほどになってしまう。このため、町では緊急財政対策会議を立ち上げ、22年度予算編成に向けて各事業の見直しを行った。 町では一昨年に事業仕分けを実施し、かなりムダ、休止、廃止という意見が出てきた。この事業仕分けの手法を使い、事業の		

	<p>精査を実施してきた。事業の休止や縮小を行うことにより、ようやく22年度予算の見通しがついてきたところである。</p> <p>町の事業としては、140億円を投資した寒川駅北口地区の整備が、あと2年で完成に近づく予定である。次はさがみ縦貫道路が完成することにより町には2つのインターチェンジができる。寒川南インターチェンジ周辺は22年度から担当課を作り開発にむけての準備に取り組んでいきたい。北のインターチェンジ、倉見地区の開発、計画づくりを進めていきたいが、財政推計から町単独ではなかなか難しいため新幹線の新駅を含め、県に対して財政的な負担を求めながら、3つの拠点の整備を進めてまいりたい。</p> <p>先人が築いた地域の歴史、文化、自然環境をもう一度、都市計画を含め見直す時期ではないかと考えている。</p> <p>こういった状況の中で寒川町が生き残り、町民にとっていかに住みよい町にできるのかに取り組んでいるが、この外部評価委員会では質疑応答の中などで各委員さんから忌憚のないご意見をいただき、これからの寒川のまちづくりに反映させていきたい。</p>
出席者の紹介	<p>～初めての会議のため委員、事務局それぞれ自己紹介～ （自己紹介後、町長、退席）</p>
会議を進めるに当たって	<p>～寒川町審議会等の公開に関する規則により会議が公開される（傍聴者が認められる、議事録は承認委員により承認され公開する）旨、事務局から説明～</p>
議 事	<p>1 委員長、副委員長の選任</p> <p>～第1回目の会議のため、事務局により会議を進行した～ （小島専任主幹）委員長、副委員長は寒川町外部評価委員会設置要綱第4条の規定により「委員の互選」となっている。</p> <p>～事務局からの提案により委員長を金井委員に、副委員長を宮内委員とすることが決まった～</p> <p>～委員長、副委員長あいさつ～ （金井委員長）</p> <p>行政法を専門としているため、数字による判断があまり得</p>

議事録承認
委員の決定

議 事

意ではない。皆さまのご協力により進めていきたいのでよろしくをお願いします。

(宮内副委員長)

厳しい行政の状況の中で、地元の方と共に町行政に関わることができることはうれしいこと。重責ではあるが、委員長とともによろしくをお願いします。

(金井委員長) 今井委員をお願いします。

2 寒川町の行政評価について

(金井委員長) これから、町の外部評価になるが、委員が行政評価に対してある程度の共通認識が必要である。寒川町の行政評価について、事務局から説明をお願いします。

～事務局、説明(資料3、4、5を使用)～

(金井委員長) 事務局から説明がありましたが、確認したいこと質問などありあますか。

(金井委員長) 私から1点お伺いしたいのですが、資料5(寒川町の緊急財政対策)の17ページの事業(平成22年度積極的に取り組む事業)は、全部自主的な事業なのか。国の方針や法令による義務づけがあるものも含まれているのか。

(小島専任主幹) 小児医療費の助成については国、県の基準はあるが、町が独自に上乗せしている部分がある。この上乗せについて、継続して実施していく。重度障害者の医療、自立支援給付事業については国の制度である。他市町では所得制限があるところもあるように聞くが、町としては継続していくものである。その他の事業については、すべて町が単独で進めていく施策である。

(小栗委員) 財源不足の状況、どういった方策で補おうとしているかはわかったが、事業の重点化、またはスリム化などの詳しい内容はどうなっているのか。

(小島専任主幹) 資料5の後半の資料が事業を見直した内容である。各事業ごとに簡単ではあるが内容を示している。

(小栗委員) 町の支出を減らすことも必要であるが、町の収入を増やす施策も大切であると考え。町を活性化するなどして税収を増やすことはどのような施策があるか。例えば、寒

川神社の参拝客を活用するなどである。

(小島専任主幹) 町の観光については、観光協会に補助することにより進めている。新たな事務局長を公募により選任し、事業展開を凶っているところであるため、町からの補助金は削減をせずに観光の充実につなげていきたいと考えている。寒川神社の参拝客にお金を落としてもらおうというまちづくりに関する取組については遅れているのかと思う。

(宮内副委員長) 財源についての説明がないが、一般財源を減らすことが大切である。各事業が羅列してあるが、国、県からの補助金で実施している事業を縮小、廃止してもあまり意味がない。財源を明記した資料の提供をいただけないか。事業は町単独、国、県の補助事業、法律によってどうしてもやらなくてはならない事業などの整理がされていないとよくわからない。

(金井委員長) 財源を示した資料の提出はできるか。

(小島専任主幹) 特定財源の内訳も必要か。

(宮内副委員長) どの事業を外部評価の対象とすべきかを考える際に必要となるので、お願いしたい。

(樋口副主幹) 次回の会議の際までに用意してお渡ししたい。

3 寒川町外部評価委員会の進め方について

(金井委員長) 事務局から説明願います。

～事務局、説明(資料2、6、7、8、9を使用)～

(金井委員長) 事務局から説明がありましたが、確認したいこと質問などありあますか。

(宮内副委員長) 今後の外部評価の場で主管課の課長とわれわれとが共通認識のもとに本音でどういった取組を進めていくべきなのか、どのように事業を進めていきたいのかを公開の場で議論をしてということを考えていくということか。

(小島専任主幹) 事業の主管課が事業の内容について一番理解しており、今後の進めていきたい方向性についても考えを持っている。次回以降、主管課に事務事業シート等により事業の説明をさせ、委員の皆さまと質疑を行うことにより議論を深め、評価を進めていきたいと考えている。

(宮内副委員長) そのようにしていただきたいと思う。

(小栗委員) 事業をいくつかピックアップして評価するとなる

と、かなり詳細な資料が必要となってくる。例えば資料4にある人件費について、平均給与が出ているが、これが高いかなどについても意見を言っているものなのか、どうか。

(樋口副主幹) 大きな部分で見ていただくところは大切であるが、細かい部分でも見ていただいてもかまわない。平均給与については、町全体の職員の給与費を職員数で割って出したものなので、毎年、少しずつ変化している。この金額については、すべての事業でこの金額を記載しているため評価の対象とはならないが、職員数(この事業を何人の職員で行っているかは)については、評価の対象となる。

(小栗委員) こちらが求めればそのような細かい資料も提供してもらえるのか。

(樋口副主幹) 補助シートについて説明します。この事務事業評価シートだけではわかりにくい部分もあるので、実際の事業の内容、事業費の内訳、比較参考値として他市町の状況などを記載したものを用意する予定である。その中に投入人員の割合を入れることは可能である。投入人員の内訳も入れることを検討したい。

(宮内副委員長) この評価委員会でどういう形で結論を出すのかが重要である。一般的にはA拡充強化、B現状維持、C見直し縮小、D廃止の4ランクに分かれると思うが、ここではシートの右下の方法改善、現状維持、縮小・廃止、統合くらいになるのかと思うがどうか。

(樋口副主幹) 担当課とのヒアリングの際に各委員さんに評価結果シートを記入していただくかと考えている。評価の結果は拡充、現状維持、縮小、廃止とし、具体的な各委員からの意見も記載していただきたいと考えている。こういった部分を拡充すべきとか、この部分は見直すべき、見直す必要がある、といったようなコメントも記載していただきたいと考えている。これにより各委員さんのご意見をまとめていきたい。

(金井委員長) 確認をしたいのですが、担当課長に出席を求めるのは対象事業を選定するときなのか、それとも選定後なのか。

(宮内副委員長) ある程度絞り込んでからその事業についての議論を深める時に課長に話を聞くべきである。

(金井委員長) この委員会の権限(ある程度の調査することができる)について、庁内に明示していただきたい。他の委員会の権限と重なることもあり得るので、委員会に意見を送付したり、意見をいただいたりというようなルートもできるとよいと思う。試行錯誤の中で、寒川町スタイルができるとよいと思う。

4 外部評価を実施する事業の選定について ～事務局から説明(資料7、8を使用)～

1日で3事業、2日間で5事業くらいを考えている。資料8には財源の内訳はない。次回に用意したい。

(金井委員長) このたくさんの中から5つ選ぶのはなかなか難しい。こういった基準、内容を考えているのか。各柱のうちから一つなどあるのか。

(宮内副委員長) 絞り込みをしないと難しい。絞り込みは財源の内訳で、町単独事業を中心にしたい。その中で事業年数の長いもの、事業費の高額なもの順で並べて絞り込む必要がある。この事業はずっと昔からやっているが、社会情勢の変化により見直すときではないかなどを見てよいと思う。

(金井委員長) 国、県のお金が入ってくるものは仕組みがよくわからないので、初年度は避けるべきであると考え。法令上の位置付けがあるものないものも分けて考えてよいと思う。ないものに限るわけではないが、大きな絞り込みをこういった内容でどの程度の事業数になるのか。

(樋口副主幹) 正確な数字は把握していないが、3分の1程度が町の単独事業である。

(宮内副委員長) その中で金額の順、年次の古い順に並べて、5本選ぶのがよいのではないか。

(金井委員長) 各項目ごとにこういった内容でリストを作っていただきたい。

(金井委員長) その他に何かありますか。

(小栗委員) 300を超える事業の中から5事業程度を評価することだが、この評価の結果は他の事業にどのように反映されるのか、または、反映される仕組みはないのか。

(金井委員長) フィードバックの関係はどのようになっていますか。

(樋口副主幹) 評価の結果は町の部長級の会議等で審議し、次年度の事業の展開に役立てていきたい。委員会の開催時期の問題で22年度の予算への反映はできないが、執行の段階で活かすことはできる。予算上のものとなると23年度の予算になってしまう。平成22年度の外部評価委員会は、23年度の予算編成の前、夏頃に開催し、予算に活用できるようにしたい。他の事業へどのような活用、考慮ができるのかについてはなかなか難しいところである。行政改革の担当からすると、外部評価により、その職員が評価の対象となった事業について細かく考えることになる。そこで、その職員が自分が所管している他の事業を見て、執行するときにもう一度目的や執行方法について考えることができるようになってほしい、と考えている。なかなか進まないが、一歩ずつ進めていきたいと考えている。

(宮内副委員長) 現在の評価、内部評価の仕組みに加え、この委員会で外部評価を実施する。この上にあるのは総合評価であると考えている。これは、町長をトップとしての町の会議で「外部評価委員会からこういう評価を受けたが、主管課としてどうなのか」を部長に指示し、町の行政システム会議などに諮り、他の事業ではこういったことはできないのか、といったことが検討され、町全体の見直しにつながるという仕組みにすべきではないか。

(樋口副主幹) 県のシステムはそのようになっている。町としても評価結果に基づき町長が決定し、責任をもって執行していくこととなる。そこで、他の事業への波及もあるとよいと考える。

(金井委員長) もう一つ別のルートもある。評価の結果はホームページなどで公表されるが、5人でできることは限りがある。行政はこんなにかんばっているがここが難しいのか、こんなにお金をかけるのなら安い委託費で自分たちでやるよというような、基礎自治体であるからこそできる住民との協働の意識が出てくるのではないか。単にホームページや広報紙に載せるだけではなく住民の意識が少しずつでも変わってくるようなら、フォーラムを開催するなどして意見交換の場を設け、住民の意識を大きく変えていくこともできるのではないかと思う。

(樋口副主幹) 行政の役割と町民全体の役割の考え方を変えられるようなものになれば大変よいと思う。ハードルは高いと思う。

(宮内副委員長) 団体に対する補助金の支出について評価するという方法もあるが、補助団体と行政との関わりは、お互い様のようなところもあり、これを廃止等とする決断はなかなかできないのが現状である。

(金井委員長) いろいろなご意見がでてきたが、事業の選定については、資料をいただいてから行うということによいでしょうか。

(樋口副主幹) 求められた資料については、早急に各委員に配付します。その中から各委員にいくつか〇印をつけていただき、その事業について外部評価を実施するということがいかがでしょうか。

(金井委員長) これだけの数があるので、なかなか同じものに意見が集中することは考えにくい。あとは、事務局一任ということになるのか。事業選定はもっとしっかりとやりたいと思うがどうか。

(樋口副主幹) 年度内に結論を出したいと考えている。町側の都合で申し訳ないが、3月議会が2月末から始まるので、各課長級の職員はそちらに専念するようになる。このため、2月22日の週にヒアリングを実施したい。日程が限られてしまう。

(金井副委員長) 委員会は何回くらい開催できるのか。

(樋口副主幹) 5回までなら開催は可能であるが、委員さんのご都合にもよる。求められた資料は来週の火曜日には各委員に届けられるようにしたい。

(金井委員長) 1日で5事業は可能なのか。

(今井委員) 必ず年度内に結論を出さなければならないのか。結果の反映からすると、その必要はないのではないか。

(木村部長) 必ずしも年度内でというわけではないが、議会月が入ってしまうため、途中で期間が空いてしまうかもしれない。

(金井委員長) 議会はいつから始まるのか。

(樋口副主幹) 2月25日からである。

(金井委員長) 次の日程をどうするか。

(宮内副委員長) 次回、事業選定を行い、その後、議会前にヒアリングを行い、必要ならその後取りまとめの会議を行うといった予定でよいのではないかと。事業選定からヒアリングまでの期間は、評価シートができていたため、それほど大変ではないと思う。

(金井委員長) では、なるべく年度内で収まるよう日程を決めていきたいと思う。今回は、最速で4日か5日となるだろうか。

(樋口副主幹) 開催時間については、午前、午後に限らず、夜間でも構いません。

(金井委員長) 4日か5日でいかがですか。

(宮内副委員長) 4日は難しいので、5日なら大丈夫です。

(金井委員長) 他の委員さんはいかがですか。

(各委員) 大丈夫です。

(金井委員長) では、次回の会議は2月5日(金)午後6時からとします。おおむね1時間程度で終了できるようにしましょう。場所はこの会議室で可能か。

(金井委員長) 次々回の会議の予定はいかがでしょうか。

(樋口副主幹) 2月22日、23日ころいかがでしょうか。

(金井委員長) 皆さんの都合はいかがですか。

(本郷委員) 23日は既に予定が入っています。

(金井委員長) では、22日午後2時から開催することとします。ここで、各課長から内容を聴き、実際の事業の評価を行うということにします。

(宮内副委員長) 1事業30分程度で、1日で5事業できるのではないですか。

(金井委員長) 質問がたくさん出るようだと、30分はどうかと思うが、できる限り、進めたいと思います。

(樋口副主幹) 事業が決まった時点で事務事業評価シートは各委員に配布することができる。補助シートは少し遅れるかもしれない。

(小川主任主事) 次回の会場は、この会議室とします。

(金井委員長) 本日の会議の予定は以上となります。長時間にわたりお疲れ様でした。ありがとうございました。

(午後4時30分終了)

<p style="text-align: center;">資 料</p>	<p>資料1 委員名簿</p> <p>資料2 寒川町外部評価委員会設置要綱</p> <p>資料3 寒川町の行政評価</p> <p>資料4 事務事業評価シート（みほん）</p> <p>資料5 寒川町緊急財政対策</p> <p>資料6 寒川町の外部評価</p> <p>資料7 平成21年度総合計画体系図</p> <p>資料8 事務事業一覧表</p> <p>資料9 町民アンケートの結果</p> <p>資料10 さむかわ2020プラン（総合計画書）</p> <p>資料11 さむかわ2020プランダイジェスト版</p> <p>資料12 さむかわ2020プラン前期基本計画 第2次実施計画</p>
<p>議事録承認委員及び 議事録確定年月日</p>	<p>議事録承認委員 今井伸明 （平成22年2月5日確定）</p>